

参加募集中

青井地区における、これまでの地区別懇談会意見を踏まえた『復興まちづくりの方向（案）』について

～第3回懇談会の意見概要①～

□は方向案の柱、赤字は事務局側での記載事項です。黄色網掛け箇所が第3回地区別懇談会における参加者の主な意見です。（※決まった内容や事実確認をした内容ではありません）

意見集約のキーワード （復興計画の3つの柱）	地区の主な課題 （地区の復興まちづくりに向けた主な課題）	取組み方針 （課題解決のための取組み方針の柱）	具体の取組み（案） ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建と コミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】	☐住まいの再建と安全性の向上 ・「なりわい再建補助金」は元と同条件での再建が補助要件で、新しい規格での再建には支援がないという。 ☐地域コミュニティの再生 ・小学生～高校生の人数が減っており、祭りの際は他町内から手伝いに来てもらっている。【駒井田町】	☐安全な住まいの確保 ・再建する建物にも、住宅や商いをする建物など色々ある。それぞれが醸し出すものがあり、各地区の特性を踏まえる必要がある。 ☐コミュニティの拠点の再生	☐安全性を高める建て方の誘導 ・解体後に新築したいが、嵩上げや道路拡幅の方針はいつ決まるのか？設計に関わってくる。 ・3・4階でないと安心して居住できない。建設に行政からの資金補助があると助かる。 ☐地域の集会所の再建 ・日頃からホテルの一部施設を集会所として利用。【上青井】 ・下青井町会館の小部屋は利用できるようにしたが、天井、壁は張れず、市助成金では不足。 ・会話する場所が欲しい。毎日会話する時間を作っている。【駒井田】 ・コロナが落ち着いたら他の公民館等を借りて、子ども食堂を再開したい。【駒井田】
②力強い地域経済の再生 【生業再建】	☐生業の再建と賑わいの再生 ☐観光のイメージづくり ・人吉駅から駒井田周辺は観光のイメージがない。 ・観光資源：青井阿蘇神社、SL、映画撮影現場。	☐生業の再生に向けた環境づくり	☐個々の事業所の再建支援 ☐観光のメニュー ・大村横穴群(古墳)付近の道路を整備し大型バスが通れるようにしては。 ・人吉駅と産交バスの提携。高速バス停留所を作ると、そこから歩いて観光でき、県外からの観光促進になり、地元の人も駅経由で県外へ行ける。
③災害に負けない まちづくり 【避難対策】	☐安全な避難ルートの確保 ☐避難施設の確保・改善 ☐安全な避難の仕組みと体制の強化	☐安全な避難路の整備 ☐複数の避難場所の確保 ・想定浸水レベルに応じ、方策検討する必要がある。 ☐適切な情報発信の実施 ☐自助共助の避難体制の構築 ・今回5度目の水害で一番ひどかったが球磨川を恨んではない。また来ても仕方がないと思っている。 →自宅ベランダに屋根に上るための階段を作っている。他所をあてにしないで垂直避難する。	☐地域の安全性の向上に資する道路の整備 ・南北方向(村山公園)への真っすぐな避難路の充実。【上青井・中青井】 ・災害時に活躍する公共交通の体制構築。 ☐垂直避難や車移動に留意した避難場所の確保 ・下青井には逃げる所がない。住民も一般の人も逃げ込める高い建物をつくることは有効。 ☐防災情報の伝達機能強化 ☐自助共助の避難体制の構築 ☐地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成 ☐災害ゴミへの対応（災害後の災害ゴミ置き場の指定、ゴミ置き場の管理体制の構築）
【復興まちづくり】	☐地域特性を活かした復興まちづくり ・人吉には喫茶店が少ない。 ・今の堤防高は子どもの目線では川が見えない。 ☐留意すべき復興まちづくり上の課題 ☐インフラの課題 ・上青井地区の排水管が詰まり、交差点付近のトイレ等の水が蓮池に流れ込んでいる可能性。 ・将来を考えた場合、都市計画決定時の道路幅員14mの妥当性再検討の必要がある。明確な理由説明が求められる。	☐地域特性を活かした復興まちづくりの推進 ☐地区が一体となった復興まちづくり方針の共有化 ・住宅再建が大変で、公園整備にまでなかなか気が回らない。	☐青井地区のグランドデザインの作成 ☐面的まちづくり手法を活用した良好な市街地環境形成 ・区画整理などで下青井の町内で高台へ換地し住まいの安全性を高めるとことが可能ならば、ぜひともお願いしたい。解体している所は有効では。 ・青井神社の周りに公園もでき、道路も拓がるのは理想だ。 ・観光を考えると、国道445号拡幅は適切ではなく、下林柳瀬線を主要幹線道路にしては。 ・蓮池から球磨川に向かうエリアでの道路幅員14mの整備。 ☐公共交通を活かした人の滞留の促進（JR肥薩線の早期再開） ☐賑わいや交流・コミュニティの活性化につながる拠点機能の強化 ・球磨川から青井神社の鳥居への空間の門前町としての整備。 ・高齢者がまちブラ出来るよう、町内の駐車場・公園の整備(子供が少なく公園は高齢者向)。 ・新規出店希望者への空き地・空き店舗の情報共有・発信。 ・まちの中で市民が滞留できるような道路の整備（車道の一部を狭くする）。 ・拡幅した道路を平常時交通規制し賑わいを創出。 ・辻病院(山側の建物)跡地を公園や子供の遊び場にしては。 ・オランダのアムステルダムのように、住宅の裏側に共有の広場を作っては。【駒井田】 ・街路樹を含めた町内の緑化。 ・サイクリングロードの整備。 ☐球磨川を活かしたまちづくり ・現在、まちから川沿いがとてもよく見えている。水辺を活かした空間づくりは良い。
【治水・土砂災害対策】	☐河川氾濫 ・もともと人吉の温泉街のまちは、6mの堤防高があれば水害は来ないというデータがあったが、まちの人が「川が見えないから」という理由で反対した。6mあれば、だいぶ助かったかもしれない。	☐流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・治水対策は大学教授たちを信頼して頭脳集団に任せする。 ☐小河川の氾濫対策の推進・促進 ☐急傾斜地対策	☐流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・先人の智慧・治水対策の見直しと活用。水位の段階的な対策の検討。 ・可搬式特殊堤防の導入（平常時は景観を楽しめる）。 ・まちを守る、鳥居の高さ以上の堤防が必要。景観を考えるなら、江戸時代の石垣、城壁風にしては。 ・球磨川の幅を拓げ、堆積土砂を取ることが必要。 ☐小河川の氾濫対策の推進・促進 ・御溝川の開渠（住民が氾濫状況を確認できる）、流水のコントロール。 ☐急傾斜地対策